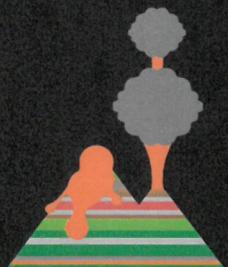
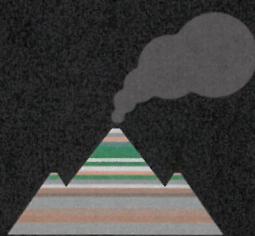


火山とのかかわり、
地質リスクへの対応



GEO FORUM 2018 SHIZUOKA

シオフォーラム 2018 in 静岡



技術発表

富士火山南麓における 火碎流堆積物の特徴

(株)グランドリサーチ
天野 恵祐

常葉大学大学院 環境防災研究科
嶋野 岳人

国道136号土肥拡幅事業の 地質について ～悩まされた热水変質帶～

静岡県道路公社東部管理センター建設管理課
山田 貴久

溶岩層の分布する地域における 地質調査の留意点について

(株)建設コンサルタントセンター
牧野 敦史

土屋産業(株)

岡安 克之

伊豆半島における 热水変質帶で経験した問題

火山灰質粘性土の配合試験に 影響を与えるアロフェンの 簡易試験方法について

(株)中日本コンサルタント
尾崎 俊介

貫入岩による熱変質および 地層の不連続性の評価

(株)フジヤマ
渡邊 謙也

特別公演

我が国の火山活動の 現状と今後 富士山噴火はあるか

東大名誉教授 環境防災総合政策研究機構
環境・防災研究所 所長
藤井 敏嗣

2018.10.5 金

開催場所・静銀 ユーフォニア [静岡市葵区追手町1-10 アゴラ静岡ビル8F]
開催時間・午前10時～午後4時15分

お問い合わせ・静岡県地質調査業協会 事務局 TEL.054-247-3316 FAX.054-246-9481

・主催・(一社)静岡県地質調査業協会 ・後援・(一社)建設産業団体連合会、(一社)中部地質調査業協会 ・協賛・静岡県道路協会、全国治水砂防協会静岡県支部

GEOFORUM 2018 in SHIZUOKA

一火山とのかかわり、地質リスクへの対応一

巻頭挨拶

静岡県地質調査業協会主催によるジオフォーラムも今年で19回目を迎えることになりました。多くの方々の支えにより毎年このジオフォーラムを開催することができることを感謝いたします。

このジオフォーラムは、地質調査業に対する理解の向上と当協会員技術者の技術交流を目的としております。私ども協会では、技術士を中心とした各社の専門技術者による技術委員会を設けこのジオフォーラムの開催計画とともに、技術の向上を図るための交流を行い協会員全体の技術力向上に対しでも努力をしております。

今回は「火山(火山とのかかわり、地質リスクへの対応)」をテーマとしました。日本国内では、平成29年4月桜島、10月新燃岳、平成30年1月草津白根山、3月霧島連山新燃岳でそれぞれ噴火が発生しました。また、世界では今年に入りハワイ島キラウエア火山の噴火、中米グアテマラのフェゴ山の噴火が住人に大きな被害をもたらし世界中の話題となりました。今日本では火山が活動期に入ったのかとの見方もあり、火山噴火は注目度の高い現象となりました。このように社会的な関心が高いという意味でもテーマを火山とさせていただきました。特に静岡県では、日本中の活火山111の中でも注目度の一番高い活火山富士山が存在しており、また、新たにジオパークとして認定された伊豆半島は火山で出来上がった島でもあります。富士山、伊豆半島の存在により静岡県の富士川より東側の地層は火山または噴火の影響により構成された地層といえます。静岡県に従事する地質技術者にとって火山の影響により構成された地層を把握することは、その地域で計画される構造物または防災においても大変重要な課題の一つといえます。

今回のフォーラムでは、私ども協会員と静岡県交通基盤部技術者が火山由来の地層の特徴または計画される構造物にどのような影響を与えるのか様々な角度での発表を行います。このフォーラムを通じ静岡県に分布する火山由来による地層の特徴を再確認することにより、地質リスクの軽減に少しでも役に立つものとなることを願っております。

最後に、このフォーラムを通じて発注者の皆様方と私ども地質技術者が相互の理解を深め、また、技術的な向上を図ることができる事を願っております。

なお、日頃私ども協会に御理解をいただいております全国治水砂防協会静岡県支部並びに静岡県道路協会の御協賛を頂きましたことを深く感謝いたします。

一般社団法人静岡県地質調査業協会
会長 松浦好樹

[会場の地図と交通機関]

場所 しづぎんホール ユーフォニア
住所 静岡市葵区追手町1-10 アゴラ静岡ビル8F

※当日、駐車場はありませんので公共交通機関をご利用ください。



[プログラム]

時 間	会 場 しづぎんホール ユーフォニア
10 00-10 10	開会挨拶 (一社)静岡県地質調査業協会会長 松浦好樹
10 10-10 40	技術発表 富士火山南麓における火碎流堆積物の特徴 ㈱グランドリサーチ 天野恵祐、常葉大学大学院 環境防災研究科 嶋野 岳人 教授 …P4
10 40-11 10	技術発表 溶岩層の分布する地域における地質調査の留意点について ㈱建設コンサルタントセンター 牧野敦史 …P5
11 10-11 40	技術発表 火山灰質粘性土の配合試験に影響を与えるアロフェンの簡易試験方法について ㈱中日本コンサルタント 尾崎俊介 …P6
11 40-12 45	昼 休 み
12 45-13 15	技術発表 国道136号土肥拡幅事業の地質について～悩まされた熱水変質帶～ 静岡県道路公社東部管理センター建設管理課 山田貴久 …P7
13 15-13 45	技術発表 伊豆半島における熱水変質帶で経験した問題 土屋産業(株) 岡安克之 …P8
13 45-14 15	技術発表 貫入岩による熱変質および地層の不連続性の評価 ㈱フジヤマ 渡邊諒也 …P9
14 15-14 30	休 憇
14 30-16 00	特別講演 我が国の火山活動の現状と今後 富士山噴火はあるか 東大名誉教授 環境防災総合政策研究機構 環境・防災研究所 所長 藤井敏嗣 …P10
16 00-16 10	講評 静岡大学 今泉文寿准教授(技術顧問)
16 10-16 15	閉会挨拶 (一社)静岡県地質調査業協会副会長 土屋靖司

我が国の火山活動の現状と今後：富士山噴火はあるか

東京大学名誉教授、山梨県富士山科学研究所 所長、環境防災総合政策研究機構 環境防災研究所 所長
火山噴火予知連絡会 前会長 藤井 敏嗣

—講演概要—

今年に入って、常連の桜島、諏訪之瀬島の活発な活動に加え、本白根山、霧島山の硫黄山と新燃岳で噴火が発生したことから、火山活動が活発化していると心配する人も多い。しかし、わが国では最近100年近くの間、毎年4~8火山が噴火をしてきたのであり、特に活発化しているわけではない。むしろ、この間は小粒の噴火が多く、桜島大正噴火や富士山宝永噴火のような規模の大きい噴火が100年近く発生していないことが問題である。過去のわが国の火山活動の様子からすると、今後数十年以内に規模の大きい噴火が複数回発生することも想定すべきである。平均噴火間隔の十倍にあたる300年以上噴火していない富士山もその候補の一つである。

藤井敏嗣教授のご紹介

藤井教授は火山学、岩石学、マグマ学に関する第一人者として先導的な研究を続けておられ、現在は富士山に関する研究も精力的になされています。また、2017年まで火山噴火予知連絡会会長の重責を担われ、火山噴火予知という社会的要請に対して計り知れない貢献と成果を残しておられます。



プロフィール

- 1970年 東京大学理学部地学科 卒業
- 1975年 東京大学大学院理学系研究科博士課程修了（理学博士）
- 1975年 東京大学理学部助手
- 1984年 東京大学地震研究所 助教授
- 1989年 東京大学地震研究所 教授
- 1997年 東京大学地震研究所所長（～2001年）
- 2003年 気象庁火山噴火予知連絡会会長（～2017年）
- 2004年 東京大学理事、副学長（～2005年）
- 2010年 東京大学名誉教授
- 2010年 環境防災総合政策研究機構理事、
環境・防災研究所所長（現在は副理事長兼任）
- 2014年 山梨県富士山科学研究所所長（～現在）

学会活動等

- 1993年～2017年 気象庁火山噴火予知連絡会委員
(2003年からは会長)
- 2003年～2007年 国際火山学および地球内部協会
(IAVCEI) 副会長
- 2006年～2008年 日本火山学会会長
- 2009年～2015年 文部科学省科学技術・学術審議会委員
- 2011年～2015年 同 測地学分科会会长

主な著書

- 地球の観測（共著、岩波書店）
- 火山とマグマ（分担執筆、東京大学出版会）
- 大地の躍動を見る（分担執筆、岩波書店）
- 地球ダイナミクスとトモグラフィ（分担執筆、朝倉書店）
- マグマダイナミクスと火山噴火（分担執筆、朝倉書店）
- 地震・津波と火山の事典（共編、分担執筆、丸善書店）
- 火山の大研究（監修、ボプラ社）
- 正しく恐れよ！ 富士山大噴火（徳間書店）ほか多数

先てあて

(一社)静岡県地質調査業協会

ジオフォーラム 2018 受付窓口 (一社) 静岡県地質調査業協会事務局 (担当: 大橋) まで

電話：054-247-3316 FAX：054-246-9481

E-mail : info@s-geo.com

ジオフォーラム 2018 参加申込書

お申込は、平成30年9月27日(金)までにメールまたはFAXでお送りくださいますようお願いいたします。

ご参加希望者名簿

ご連絡先 電話番号 :

注意事項 1.「所属 1」は社名、事務所名等をご記入ください

2. 「所属 2」は部署名、課名等をご記入ください

3. 「役職」は主任、技師等の職位をご記入ください

4. 欄外のご連絡先電話番号のご記入もよろしくお

5. メールにてお申し込みの際は、お手数ですが件名を“参加申込”

お願ひいたします。